

令和4年 豊後大野市教育委員会 6月定例会 議事録

1 開催日時

令和4年6月28日(火曜日) 午前9時00分開会 午前11時35分閉会(2時間35分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

委員 4名中4名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 三浦 絵里奈

2番委員 羽田野 光江(教育長職務代理者)

3番委員 江嶋 真朋子

4番委員 渡部 稔

(欠席委員) なし

事務局 4名出席

(出席)

教育次長 後藤 樹代文

学校教育課長 中城 美加

社会教育課長兼図書館長 岡部 司

学校給食共同調理場長 赤嶺 真一(学校教育課参事 兼)

(欠席)

資料館長 高野 弘之(社会教育課参事 兼)

書記 1名出席

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 衛藤 幸司

4 諸報告

教育長報告

各課報告

5 付議事項等

報告事項

報告第5号 議会関連の報告について

議事案件

議案第22号 令和4年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

6 会議の概要

○出席者報告

後藤教育次長	<p>それでは、委員の皆さんお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員4名、欠席委員無し、教育長・教育委員会事務局4名の出席です。本日は、報告事項 1 件、議事案件1件を提案させていただきます。議案第22号令和4年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査につきましては、連絡調整の後でのご提案とさせていただきますので、よろしくいただけます。それでは教育長よろしくお願ひします。</p>
--------	---

1 開会

下田教育長	<p>おはようございます。ただいまより、令和4年度6月豊後大野市教育委員会定例会を開会致します。 (午前 9 時00分開会)</p>
-------	--

2 前回議事録の承認

下田教育長	<p>それでは、会議規則第六条第一項第2号の規定に基づき、5月定例会及び5月31日開催の第3回臨時会の議事録の承認を求めます。議事録に付きましては事前に送付いたしましたので、説明を省略し、承認手続きを行います。まず、ご質問を受けたいと思いますが、何かございますか。</p>
全委員	<p>… 委員一同質問なし …</p>
下田教育長	<p>よろしいですか。それでは5月定例会並びに第3回臨時会の議事録を承認することに異議ありませんか。</p>
全委員	<p>… 委員一同異議なし …</p>
下田教育長	<p>異議なしと認め、承認します。</p>

3 議事録署名委員の指名

下田教育長	<p>続いて会議規則第十七条第二項の規定に基づき、本会議の議事録署名委員の指名を行います。4番渡部稔委員を指名します。</p>
渡部稔委員	<p>… 指名委員の了承 …</p>

4 会期の決定

下田教育長	<p>次に会期の決定であります。付議事項等勘案致しまして、本日1日限りとしたいと思いますが、異議ありませんか。</p>
全委員	<p>… 委員一同異議なし …</p>
下田教育長	<p>異議なしと認め、本日 1 日限りといたします。</p>

5 諸報告

(1) 教育長報告

下田教育長	それでは、諸報告に入ります。私の方から報告をさせていただきます(教育長から令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会資料から[GIGAスクール構想の真価=GON (Gadget Of Nexus)ちゃん]について報告)
-------	---

(2) 各課報告

下田教育長	それでは、各課の報告を致します。次長、お願いします。
後藤教育次長	(後藤教育次長が令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告する) 続いて、学校教育課長が資料を基に報告。 続いて、学校給食共同調理場長が資料を基に報告。 続いて、社会教育課課長補佐が資料を基に報告。 (資料館・公民館については、資料書面での報告。)
下田教育長	それでは、各課の報告が終わりました。ご質問を受けたいと思います。
羽田野光江委員	5月20日から28日の蔵書点検による閉館の件ですが、来年度からは、もっと長い期間になるのですか。また、今年度みたいに2回するのではなく、1回だけとなるのですか。
岡部社会教育課長	年に1回だけの実施で、一週間程度で作業が終わるようになっていきます。
羽田野光江委員	了解しました。
下田教育長	6月は梅雨の時期ということで、室内で過ごすことも多いと思います。読書にむいた季節とも言えるかなと思います。その6月に蔵書点検のための閉館ということなので、時期についての検討などはできませんか。毎年、月毎に来館者数をチェックしているわけですので、来館者数が一番少ない傾向の時期に蔵書点検をするのがベストではないでしょうか。よろしくお願いします。他にご質問ございませんか。
全委員	… 委員一同質問なし …
下田教育長	諸報告について、終了致します。

6 付議事項等

○報告事項

報告第5号 議会関連の報告について

下田教育長	それでは、報告第5号に入ります。
後藤教育次長	(令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会報告第5号別冊資料で説明)

下田教育長	議会関連の報告がありました。ご質問ございますか。
全委員	…委員一同質問なし…
下田教育長	それでは、報告を終わります。

7 その他

- ①新型コロナウイルス対応について
- ②豊後大野市中学校国際交流事業補助金交付要綱(内規)の制定について
- ③ヤングケアラーの現状について
- ④小中一貫教育について
- ⑤県内の給食費の状況について

下田教育長	それでは、その他、新型コロナウイルス対応について、お願いいたします。
中城学校教育課長	(令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会「その他①②」別紙資料で説明)
下田教育長	コロナの最近の動向です。ご質問ございますか。
全委員	…委員一同質問なし…
下田教育長	それでは、続きまして、豊後大野市中学校国際交流事業補助金交付要綱(内規)の制定について、お願いいたします。
岡部社会教育課長	(令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会「その他①②」別紙資料で説明)
下田教育長	変わった点は、何ですか。保護者負担はどうなりましたか。
岡部社会教育課長	補助金の対象と条件が変わり、対象の幅が広がりました。保護者負担については、ほぼ、変わっていません。
下田教育長	ご質問、ございますか。今年は、中止したのだったですかね。
岡部社会教育課長	令和2年、令和3年、に引き続き、今年度も、コロナ禍のため中止としております。
下田教育長	大統領も替わり、日韓関係が改善している状況もあるので、来年度は、実施できる方向でお願いいたします。
羽田野光江委員	補助金を出す対象の実施団体に、豊後大野市中学校国際交流事業団という団体があるのですか。どのような団体ですか。市の国際交流協会と関係があるのですか。
岡部社会教育課長	中学校の校長先生が団長を務め、参加する中学生、引率する先生や国際交流事

	業員と社会教育課職員が団員となります。さらに、教育委員2名の方にも監事として係わっていただく組織です。市の国際交流協会とは関係がありません。
羽田野光江委員	分かりました。
下田教育長	教育委員さんも交流事業に参加できるということですか。
岡部社会教育課長	はい、可能です。
江嶋真朋子委員	これは、日本と韓国の生徒がお互いにホームステイし合うという事業ですか。
岡部社会教育課長	そうです。
渡部稔委員	参考までに聞きたいのですが、実施した平成30年度・31年度の交付申請金額はどれくらいだったのですか。
岡部社会教育課長	30年度は、参加者27名で約150万円、31年度は、15名参加の約120万円の補助金でした。
渡部稔委員	分かりました。
羽田野光江委員	補助金の申請金額や交付金額は、参加人数によって変わってきますか。1人あたりいくらの補助ですか。
岡部社会教育課長	1人あたりの負担額が2万円です。交通費等かかった額から2万円を差し引いた額が補助金額になります。当初予算に180万円を計上しています。
下田教育長	総額を想定した予算を計上しているということです。安全を第一にしながら、経費を抑える工夫をしているようです。
羽田野光江委員	お願いしたいことがあります。以前、参加者の出身町を拝見したことがありますが、犬飼町等からの参加者はいませんでした。海外に行って研修を積むというのは、大変良いことなので、豊後大野市内全ての中学校から参加者がるように、宣伝の方をよろしくお願いしたいと思いました。
岡部社会教育課長	今は、各中学校の全生徒に等しく募集をかけています。
羽田野光江委員	分かりました。今後、各中学校の生徒が参加し、それが宣伝となって、各中学校に広がっていくと良いなと思いますので、よろしく願いいたします。

下田教育長	他にございますか。
全委員	…委員一同質問なし…
下田教育長	それでは、次、ヤングケアラーについてお願いします。ヤングケアラーについては、定義が非常に不安定なところがございますので、現状での認識をご説明します。
中城学校教育課長	(令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会別冊資料「豊後大野市ヤングケアラーの現状」で説明)
下田教育長	ご質問ございますか。 家庭科の達成目標に「お手伝い」というのがあります。それと「強制の家事労働」の見極めがむずかしいのですが、「強制」の視点や認識も持たないといけないと思います。
羽田野光江委員	小学生516人の内7%、35人くらいの子が家族のお世話をしていると答え、そのうちお母さんの世話をしている子が17%ということで、すごい数字だなと思います。先日、ヤングケアラーのことが話題となって、「うちのまわりには、そんな人いないよね。」「そんな家庭があったら大変だね。」という話になりました。地域に小学生や中学生があまりいないので、話はそこで終わってしまいました。今の説明や教育長の話のようにお手伝いまで、強制の家事労働に入ってしまうのであれば、判断が難しいなあと思いました。その場合、一番分かってくるのは、学校の先生ではないかなと思いました。大変だけど、先生方に把握をしていただいて、なおかつ、どういう取り組みをしていかないといけないのかという話しを進めていかないといけないのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。
中城学校教育課長	その通りだと思います。以前、授業中、うなだれている生徒がいました。どうしてかなと聞いていくと、夜遅くまで手伝いをしているということでした。生徒にとっては、それをお手伝いだと思っているのでしょうか、子どもの勉強や自分のための事をする時間に影響を与えているのではないかなと思いました。そこで、保護者に学校側からお話ししたこともありました。そんなふうにもわりから見えやすい場合はよいのですが、中学生になると、家のことは、できるだけ見えないようにしたいという感情が働いてしまうと子もいます。その場合は、なかなかまわりから見えません。日頃から、子どもたちから相談ができる学校になっていくことが大事かなと思います。
羽田野光江委員	そのことを伝えられた保護者はどうなのでしょう。改善された例もあるのですか。
中城学校教育課長	いろいろなご家庭の環境がありますので、反応も様々です。お手伝いの考え方も様々です。改善が難しい場合も多いです。保護者が病気の場合は、ヘルパーさんなどに入ってもらって改善するということはあります。

下田教育長	<p>これまでは、ヤングケアラーということではなく、子どもたちの生活に不都合が生じていることを生徒指導の一環として対応していたのですが、今回の実態調査によって、保護者に問題提起ができるようになりました。2学期に問題提起を行い、各家庭のルールを見つめ直し、整理してもらおうと思います。</p>
羽田野光江委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
江嶋真朋子委員	<p>ただ、問題提起を聞きに来る人は、分かってくれると思うのですが、聞きに来ない人には気づいてもらえないのではないかと心配します。「うちのは、お手伝いです。」と言われたら何も言えませんし、どう線引きするかが難しいと思います。</p>
三浦絵里奈委員	<p>お手伝いの範囲なのかどうか等、線引きが難しい部分はありますが、経済的問題、病気のこと等、社会問題的なケアは必要と思います。特に、経済的に困ってしまうと子どもたちにはどうにもならなくなってしまいます。結局、線引きが問題になると思います。子どもが訴えていることと親がやっていることや言っていることがずれている場合があり、どちらが本当なのか踏み込みにくいところだから難しいと思います。そこら辺の仕組みをきちんと整えて対応するべきだなと思います。</p>
下田教育長	<p>ヤングケアラーとは、また違った方向の問題も含んでいることもあります。問題提起する時に、保護者には、子どもの困りを十分に意識し考えてもらえる提起をしていく必要があります。基本的に、学校教育だけでは解決できない大きな課題ですので、いろんな課と連携して、保護者にも十分提起して相談体制を作っていく必要があると思います。いろんな県がまず取り組んでいるのは、相談窓口の設置です。うちも、9月以降設置していく方向です。</p>
江嶋真朋子委員	<p>子どもですか。保護者ですか。</p>
下田教育長	<p>子どもも、保護者も両方です。保護者も、子どもに頼らないと家庭がまわらない。しかし、子どもに負担をかけているようである。どうしたら良いのか。その時に子育て支援課や社会福祉課とつなげてあげることによって、解決策が生まれてきます。その家庭の実態に対しての指導とかではなく、その家族を守るために様々な方向から支援ができる方策を考える窓口を早急に作っていく必要があります。</p>
江嶋真朋子委員	<p>そう考えると、家庭訪問って大事になってくると思うのですが。玄関から家の中の様子まで分かりますよね。</p>
中城学校教育課長	<p>子どもたちの背景を知る一つの手段として、家庭訪問は、重要になると思います。学級懇談などは、1対多になります。家庭訪問だと、1対1でのお話ができます。その中で、保護者との関係性を作っていくことが大事になってくると思います。</p>

下田教育長	<p>今後も連続して話題にしていきますので、いろいろな情報が入りましたら、この場でご提供願います。</p> <p>続いて、小中一貫教育についてお願いします。</p>
中城学校教育課長	(令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会「その他④」別紙資料で説明)
下田教育長	ご質問がございますか。
渡部稔委員	緒方町は、施設隣接型になっていますが、分散型にはならないのですか。
中城学校教育課長	<p>三重町の場合は、中学校 1 校と小学校 5 校があり、距離的にもかなり離れているので、施設分散型としています。緒方町は、小 1 校、中 1 校ということで、隣接型としていますが、大野町や犬飼町とは違い、距離的に遠いということがあるので、違った取り組みになると思います。</p>
渡部稔委員	緒方町は、小中がかなり離れているので、相当な工夫がいるかと思います。
中城学校教育課長	おっしゃる通りです。中学校に行って授業を受ける日を設定して取り組むなど、やり方の工夫がいると思います。また、移動しなくても、9 年間の学び方を統一していくなどの取り組みが考えられます。
下田教育長	<p>離れているので、頻繁な交流はできないという認識ではなく、小中で生活習慣や学習のルールを統一化するなど、9 年間の連続性を意識した取り組みをしていくことが隣接型の大切な素地です。小学校 1 年生で学んだことが、9 年生で生きているということを目指しているのが小中一貫教育校の大きな目的です。場所的なことよりソフト面をしっかりと作りあげて欲しいというのが、豊後大野市教育委員会の願いなのです。保護者からすると、同じ校舎で勉強するのが小中一貫教育校という認識が強いと思いますので、目的の部分をしっかり伝え、そろえていきたいと思います。みなさん一体型を希望していますが、緒方町・大野町については、校舎の長寿命化計画との兼ね合いも含めて、時間をいただきたいと思います。また、大きな課題として、中学校の部活があげられます。文科省が土日については、地域移行型を推進しています。ただ、この地域移行型が子どもの視点に立って進められているかといえば、そうとはいえないところがあります。先生方の働き方改革の問題、数合わせの勝手な思考です。しかし、地域移行型になれば、学校対抗ではなく、そのスポーツが好きな子が集まったクラブ制になります。豊後大野市は、その方向を進めていきたいと思えます。そしてクラブ制で中体連にも参加できるようになってくると思えます。全国的には、週3日授業時間が5時間の日を作って、部活の時間を確保している市教委もあります。交通手段としてスクールバスの環状線を作って、自分の学校から乗って自分の選んだスポーツの場所で降りるシステムを作っている市教委もあります。いろんな取り組みができます。柔軟にいろんな工夫をして、課題を克服していきたいと思いま</p>

	す。以上のような方向になるということでしょうか。
全委員	…全委員意見なし…
下田教育長	それでは、県内の給食費の状況について、お願いします。
赤嶺学校給食共同調理場長	(令和4年6月豊後大野市教育委員会定例会別紙資料で説明)
下田教育長	ご質問ございますか。
全委員	…全委員質問なし…

8 連絡調整

- 今後の定例会の日程調整について
- その他

下田教育長	それでは、今後の定例会の日程調整についてお願いします。
後藤教育次長	前回の定例会で調整お願いしました、7月定例会を渡部稔委員の都合が悪いということで7月28日木曜日の9時から変更させていただきたいと思いますが、7月25日(月)に中学の県体視察を予定していますので26日か27日で都合を調整していただきたいと思います。また、8月定例会については、8月29日月曜日の9時から開催したいと考えています。また、そのほかの行事については、別紙のカレンダーにより確認をお願いします。以上、提案をしますので、委員皆さんで調整をお願いします。
下田教育長	7月定例会どちらが良いでしょうか。
江嶋真朋子委員	7月26日が良いです。
下田教育長 織維員	よろしいでしょうか …全委員異議なし…
下田教育長	7月定例会を7月26日火曜日午前9時から開催、8月定例会を8月29日月曜日午前9時から開催します。また、8月20日前後に事務事業評価の臨時会を開催します。よろしくをお願いします。中学の県体視察については、7月25日月曜日午前8時30分市役所集合で、よろしくをお願いします。その他ございますか。
衛藤学校教育課課長補佐	7月15日14時15分にコミュニティ・スクール連絡協議会が開催されます。講師を招いての講演会も計画していますので、教育委員さんで出席可能な方は、ご参加よろしくをお願いいたします。続いて7月16日に第72回「社会を明るくする運動」豊後大野市大会が10時から開催されます。今時点で、江嶋委員、羽田野委員の2名届け出たいと思

	<p>います。よろしくお願いいたします。また、7月29日に三重総合高校の明日を拓く会の県要望がございます。羽田野委員のご参加よろしくお願いいたします。12時半出発でよろしくお願いいたします。</p> <p>7月24日に三重総合高校演劇部の全国大会出場記念の演劇会がございます。もしよろしければ、ご鑑賞ください。</p>
--	---

○議事案件

議案第22号 令和4年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について

<p>下田教育長</p> <p>全委員</p> <p>下田教育長</p>	<p>続きまして、最後の付議事項に入りますが、これについては非公開・秘密会したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p> <p>異議なしと認めます。 それでは、教育次長及び学校教育課長のみで審議しますので、他の課長は退席をお願いします。それでは、ここで一時休憩に入ります。</p> <p style="text-align: right;">(午前10時53分休憩)</p> <p style="text-align: center;">□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 社会教育課長・学校給食調理場長・資料館長・担当者退出 ～ ～ 学校教育課担当職員(旭副主任)入室 ～</p> <p style="text-align: right;">(午前11時05分開議)</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会)開始</p> <p>※審査時は、教育次長、学校教育課長、学校教育課担当職員のみ臨席した。 ※審議結果は、審査対象者32名のうち、認定22名、不認定5名・保留5名であった。</p> <p style="text-align: center;">(非公開・秘密会)終了</p> <p style="text-align: right;">(午前11時34分休憩)</p> <p style="text-align: center;">□□□ 一時休憩 □□□</p> <p>～ 学校教育課担当職員(旭副主任)退出 ～</p>
--------------------------------------	---

9 閉会

<p>下田教育長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、本日の日程全て終了致しました。以上をもちまして、令和4年6月定例会を閉会いたします。おつかれ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(午前11時35分閉会)</p>
--------------	--